

## 令和元年度新潟大学論文投稿等支援プログラム募集要項

### 1 趣旨

新潟大学に勤務する若手教員の研究成果の公開を奨励し、研究意欲向上を図るため、学術誌への論文投稿に必要な経費の支援を行う。

### 2 対象

- (1) 本学の専任及び特任の准教授，講師，助教のうち，平成31年4月1日現在で45歳以下の者とする。
- (2) レフェリーシステムが確立した英文誌に掲載が決定した論文の掲載料，論文別刷料，論文の校閲料（Native Check）等の必要経費を対象とする。なお，出版社については，平成30年11月16日付学長裁定「新潟大学における粗悪学術誌に対する方針」に留意すること。
- (3) 今年度対象とする論文は，掲載されることが決定した日（アクセプトの日）が平成30年12月28日（平成30年度の本プログラムの申込締切日の翌日）から令和元年9月30日の間のものとする（すでに支払済の物も可）。
- (4) 共著論文については，申請者がファーストオーサー，またはコレスポンディングオーサーである論文を対象とする（論文への貢献がこれと同等の場合を含む）。

### 3 支援額

投稿に係る費用の全部またはその一部を支給する（上限10万円とし、一人で複数件応募可能）。ただし、予算の都合により、支援額を調整することがある。

### 4 申請

支援を希望する者は，令和元年9月2日から10月7日までに，下記の書類をそれぞれ1部ずつ，各所属部局の事務を通じて，研究推進課研究資金係に提出してください。

- ① 令和元年度新潟大学論文投稿等支援プログラム申請書
- ② 当該論文の別刷または写し（完成していない場合は，ゲラでも可）のうち，学術誌名，論文表題，著者名が掲載されているページ
- ③ レフェリーシステムが確立していることが分かる，学術誌の投稿規程等
- ④ 必要経費の算出根拠が分かる，投稿に関する請求書の写し等（海外通貨の場合，支払い時のレートが分かる資料等も添付すること）

### 5 選考

- (1) 研究推進機構研究戦略企画室会議の審議により決定する。
- (2) 選考結果は，令和元年12月上旬（予定）に申請者あて通知する。
- (3) 選考結果についての問合せには応じない。

### 6 その他

- (1) 本プログラムの支援決定後，当該論文の別刷1部を提出すること。（応募の段階ですでに別刷等を提出している者は，再提出の必要はない）
- (2) 令和元年10月1日以降に掲載されることが決定した（アクセプトされた）論文は，令和2年度の本プログラムで支援対象とする予定です。